

## モンテッソーリインターナショナルスクールについて

「算数は何年生まで進んでいますか」「児童英検は全員取るのですか」「少人数だと、精神的に弱くなりませんか」これらは、娘がモンテッソーリの在校生だと言うと、よく尋ねられることですが、その度、随分と誤解が多いんだなと感じます。

娘が3歳7カ月から在籍して身につけたのは、先取り知識や資格ではなく「自発的に興味を持ったことに対して、五感をフルに使ってじっくりと取り組み、吸収していき、また自らの行動は、自律によって制御する」という姿勢そのものです。

そして、こちらで英語力を日々つけていますが、英語環境も「勉強・しなくてはいけないもの」としてではなく、絵本の読み聞かせや、人と人との会話という自然な形で与えられる点が、モンテッソーリの大きな特徴です。

もともと娘と英語の出会い、短期で早口な私自身が、赤ちゃんの娘のお世話を苛立ちを持ち込まない為に始めたものでした。「これ、英語で何て言うんだっけ？」と一呼吸置くことにより、冷静にもなれ、また単調な赤ちゃんのお世話を新鮮さも生まれて私自身が楽しんでいました。そんな中で、娘は英語を覚え始めたので、自然な形で伸ばしてやりたいと思い、英語教室を探したものの、ただの遊びではないが、自然に英語を発展させていける場はなかなか見つからず、こちらを初めて見学に来た時は「やっと見つかった」と安堵した思い出があります。

そして、最後に少人数であることの影響ですが、これに関しては、私も「幼児期から多人数の中で過ごす方が良いのでは」と思っていました。しかし、信頼しているベテランの小児科医の先生から「今まで沢山のお子さん見てきたけどね、少人数で大人の目の行き届いた安定した環境に入れた方がいいよ。甘やかしではなく、幼児期に精神的な安定を十二分に体感させることは、自分を持った強い人間に育てるのには大事なことなんだよ。」と言われ、目から鱗が取れる思いをしました。娘は現在、某スポーツを習っていますが、こちらでは幼稚園や保育園、小学校もバラバラの多くの子供が集まりますが、友達を沢山作り、また例えコーチに厳しい指導を受けても非常に逞しく積極的に取り組んでいきます。また他の場においても、初めての人とすぐ打ち解けますし、物おじしません。

娘は来年小学校に入学しますが、モンテッソーリで育まれた「自発性・自律性・安定した自己」は、新しい世界の中でさらに自分自身を発展させていく礎になっていくだろうと感じ、親として就学前にとっても良い環境を与えられて良かったと満足しています。

以上

(6歳1カ月在学中)

## モンテッソーリインターナショナルスクールへの扉

どこから知ったのか、今となつては記憶が定かではありませんが、一つの大きなきっかけになったものがあります。"NHKスペシャル 赤ちゃん 成長の不思議な道のり"というDVDを見たことでした。

私たちの一生で、もっとも脳の潜在能力が高いのはいつ頃か？

最新科学が明らかにした答えでは実は生後8ヶ月から1歳前後だという。

このDVDを見たとき、我が子は確か10ヶ月になるところだったと記憶しています。ちょうど何とか自力でヨチヨチをし始めた頃でした。たまたま見つけたモンテッソーリインターナショナルスクールのベビークラス生徒募集の広告を見つけて、いても立ってもいられず、門を叩きました。伺った教室には、本当にたくさんの魅力的な教具がありました。レッスンはもちろん素晴らしいものでしたが、あの豊富な教具にも大変魅了されました。体験レッスン後、無理をお願いしてすぐにレッスンをスタートしてもらうことにしました。

早くから通い始めて、今本当に良かったと思えることはたくさんあります。その中の一つ、息子は母子分離に抵抗なく自然にスクールに通えたことです。初めは週に一回、母親が一緒の30分のプライベートレッスンで、息子は少しずつスクールの楽しさを覚えて行きました。何と言っても、いつもそこには息子の大好きな教具がたくさんありました。同じ教具を何度も何度も繰り返しては喜ぶ我が子の姿が母親の楽しみでもありました。毎回30分はあっという間でした。そのうちに同じスクールに居ながらも、息子には姿を見せないようにしてレッスンを受けさせるようになりました。初めて息子の前から姿を消す時は、内心泣くのではないかとドキドキしましたが、予想に反してレッスンを無事に終えたのでした。そのうちに週に三回になり、毎日になり、と今に至るわけです。もちろん子供なので時々気が重くて行きにくい時もあるようです。それでも、ある時から知らない場所に連れていかれ、突然母親と引き離される驚きと不安というものをこの子には経験させずに済みました。毎回レッスンに向かう車の中で、今日は何をして過ごすの？と問いかけると、今日はレール遊び、今日は粘土、今日はパズル、と返事をしていたので、いつも息子が目的を持ってスクールに通えていることに、親としても安心できました。

早くから通わせることは、英語の習得のためだけでなく、スムーズな母子分離のためにも良いと実感しています。おかげで、数日前のフェリーでの出来事です。息子は疲れていたのか、私のベッドの向かい側のベッドに早々と入り、カーテンをシャーっと閉めて、一人でスースー寝てしまいました。またしても嬉しい自立への一步を垣間見ました。

以上

(3歳9ヶ月在学中)